

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2004-120936

(43)Date of publication of application: 15.04.2004

(51)Int.CI.

HO2M 7/48

B60L 9/18

(21)Application number: 2002-283215

NO. 11/4 NO. 100 NO. 1

(00)D + 5 C!!

2002 200210

(71)Applicant : DENSO CORP

(22)Date of filing:

27.09.2002

(72)Inventor: SAKA KENJI

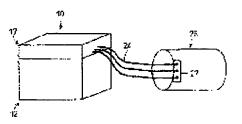
ISHIYAMA HIROSHI

(54) POWER SUPPLY DEVICE INTEGRATED WITH INVERTER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a power supply device integrated with inverter wherein fluctuation in the input voltage from a direct-current power supply to an inverter is suppressed, and the inverter is reduced in size.

SOLUTION: In the power supply device 10 integrated with inverter, the direct-current power supply 12 and the inverter 17 are integrated with each other. The direct-current power supply includes a battery and a first module 13 which houses the battery and has a direct-current output portion 15 formed therein. The inverter 17 includes a switch element 75 (Refer to Fig. 7.) and a second module 18 which houses the switch element and has a direct-current input portion, connected to the direct-current output portion, formed therein. Since a direct-current power supply wiring 71 (Refer to Fig. 7.) is disused, the input voltage of the inverter 17 is stabilized, and the capacitance of a smoothing capacitor can be reduced.





LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

12.10.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

- [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office



٠, ٠

544309JP01 17中752元 F1110 引用文献 7

(12) 公 開 特 許 公 報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2004-120936 (P2004-120936A)

(43) 公開日 平成16年4月15日(2004.4.15)

(51) Int.Cl.⁷

B60L

7/48 9/18 FΙ

HO2M 7/48

Z J テーマコード (参考) 5H007

B60L 9/18

5H115

審査請求 未請求 請求項の数 6 OL (全 7 頁)

(21) 出願番号 (22) 出願日 特願2002-283215 (P2002-283215)

平成14年9月27日 (2002.9.27)

(71) 出顧人 000004260

株式会社デンソー

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

(74)代理人 100081776

弁理士 大川 宏

(72)発明者 坂 賢二

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 株式会

社デンソー内

(72) 発明者 石山 弘

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 株式会

社デンソー内

Fターム(参考) 5H007 CC01 CC03 HA03 HA04

5H115 PC06 PG04 PI16 PV09 UI34

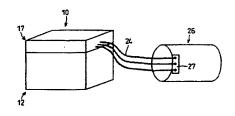
U135

(54) 【発明の名称】インバーター体型電源装置

(57) 【要約】

【課題】直流電源からインバータへの入力電圧の変動が抑制され、しかもインバータが小型化された、インバーター体型の電源装置を提供することである。

【解決手段】本発明のインバーター体型電源装置10では、電池及び電池を収納し直流出力部15が形成された第1モジュール13を含む直流電源12と、スイッチ素子75(図7参照)及びスイッチ素子を収納し直流出力部に導通される直流入力部が形成された第2モジュール18を含むインバータ17とが一体化されている。直流電源配線71(図7参照)が廃止されるので、インバータ17における入力電圧が安定し、平滑用コンデンサの容量を小さくできる。



1

【特許請求の節用】

【請求項1】

電池及び該電池を収納し直流出力部が形成された第1モ ジュールを含む直流電源と、スイッチ素子及び該スイッ チ素子を収納し前記直流出力部に導通される直流入力部 が形成された第2モジュールを含むインバータと、が一 体化されていることを特徴とするインバーター体型電源 装置。

【請求項2】

前記直流電源の上に前記インバータが載置されている請 10 求項1に記載のインバーター体型電源装置。

【請求項3】

直方体形状の前記第1モジュールの上面に前記直流出力 部が形成され、直方体形状の前記第2モジュールの下面 に前記直流入力部が形成されている請求項2に記載のイ ンバーター体型電源装置。

【請求項4】

直方体形状の前記第1モジュールの側縁に前記直流出力 部が形成され、直方体形状の前記第2モジュールの側縁 に前記直流入力部が形成されている請求項2に記載のイ ンバーター体型電源装置。

【請求項5】

前記インバータは更に、小容量の平滑用コンデンサを含 む請求項1に記載のインバーター体型電源装置。

【請求項6】

前記インバータは平滑用コンデンサを含まない請求項1 に記載のインバーター体型電源装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】

本発明は、インバータと直流電源とが一体化されたイン バーター体型電源装置に関する。

[0002]

【従来の技術】

直流電力をインバータで交流電力に変換し、電動機を駆 動することがある。例えば、電気自動車において車載バ ッテリの直流電力をインバータで交流電力に変換して電 動機を駆動する場合である。

[0003]

電気自動車における一般的な電気システムの概念図を図 40 徴とする。このインバーター体型電源装置は、直流電源 7に示す。直流電源70から直流電源配線71を介して インバータ(電力変換器)73に直流電力を供給し、イ ンバータ73のスイッチング素子75で所定周波数の交 流電力に電力変換する。交流電力は三相交流配線77を 介して電動機78に供給される。電動機78は通電と回 生とを繰り返しながら回転するため、直流電源70から インバータ73に供給される直流電力は一定にならな い。しかも、直流電源配線71には配線抵抗や配線イン ダクタンスがある。そのため、インバータ73への入力 電圧が不安定になる。

[0004]

これを防止するため、インバータ73の入力側に大容量 の平滑用コンデンサ74を配置して2次電源とし、イン バータ73から電動機78への交流電力の供給を安定化 させている。従来の具体的な電気システムでは、電動機 がトランジスタを内蔵したインバータ回路を介してバッ テリ及び制御ユニットに電気的に接続されている(特許 文献1及び特許文献2参照)。

[0005]

【特許文献1】

特開平2000-184506号公報(段落番号005 2, 図1参照)

【特許文献2】

特開平6-276608号公報(段落番号0003, 図 9参照)

[0006]

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記大容量の平滑用コンデンサは寸法が大き く、インバータ内で大きなスペースを占める。これは近 年高まっているインバータの小型化の要請に反し、その 分エンジンルーム内で他の機器の配置スペースが制約さ れる。

[0007]

本発明は上記事情に鑑みてなされたもので、直流電源か らインバータへの入力電圧の変動が抑制され、しかもイ ンバータが小型化された、インバーター体型の電源装置 を提供することを目的とする。

[0008]

【課題を解決するための手段】

30 本願の発明者は、入力電圧の変動原因である直流電源配 線を廃止する方策、及びインバータを小型化する方策に ついて鋭意研究した。その結果、直流電源とインバータ とを一体化することを思い付いて、本発明を完成した。 [0009]

本発明のインバーター体型電源装置は、電池及び電池を 収納し直流出力部が形成された第1モジュールを含む直 流電源と、スイッチ素子及びスイッチ素子を収納し直流 出力部に導通される直流入力部が形成された第2モジュ ールを含むインバータと、が一体化されていることを特 とインバータとが従来のような直流電源配線を介するこ となく、直接導通される。

[0010]

請求項2のインバーター体型電源装置は請求項1におい て、直流電源の上にインバータが載置されている。請求 項3のインバーター体型電源装置は請求項2において、 直方体形状の第1モジュールの上面に直流出力部が形成 され、直方体形状の第2モジュールの下面に直流入力部 が形成されている。

50 [0011]

請求項4のインバーター体型電源装置は請求項2におい て、直方体形状の第1モジュールの側縁に直流出力部が 形成され、直方体形状の第2モジュールの側縁に直流入 力部が形成されている。請求項5のインバーター体型電 源装置は請求項1において、インバータは更に、小容量 の平滑用コンデンサを含む。請求項6のインバーター体 型電源装置は請求項1において、インバータは平滑用コ ンデンサを含まない。

[0012]

【発明の実施の形態】

<直流電源>

直流電源は電池と第1モジュールとを含む。電池とは単 電池(セル)の集合であり、燃料電池等電気自動車やハ イブリッド車で使用されている各種単電池が使用でき る。所定の電圧を得るために多数の単電池を組み合わせ

[0013]

第1モジュールは樹脂等から成り、容器状で直方体形状 を持つことができる。その内部に多数の単電池を収納 し、その上面の一部又は側縁に直流出力部を備える。 <インバータ>

インバータは少なくともスイッチング素子と第2モジュ ールとを含み、場合によって比較的容量の小さい平滑コ ンデンサを含むことができる。各相のスイッチング素子 はトランジスタやダイオードから成り、基板上に配置さ れている。

[0014]

第2モジュールは樹脂等から成り、容器状で直方体形状 を持ち、内部に基板が取り付けられる。その下面の一部 又は側縁の、第2モジュールを第1モジュール上に載置 30 交流配線により接続される。 したとき上記直流出力部に対向する位置に、直流入力部 を備えている。また、上面又は側面に三相交流出力部を 備えている。

[0015]

尚、直流電源の廃止によりインバータ入力部の電圧変動 が抑制され、電動機の出力特性への実用上の影響がなく なる場合、平滑用コンデンサを廃止することができる。 <直流電源とインバータとの関係>

インバーター体型電源装置では直流電源とインバータと あり、両者が分離しておらず物理的に結合していること を言う。一体化の第1態様として、直流電源とインバー タとを縦方向に重ねることができる。 インバータの上に 直流電源を載置することもできるが、一般に電源装置の 方が大きく重いので、直流電源の上にインバータを載置 すること方が望ましい。

[0016]

この場合、図5(a)に示すように、1つのモジュール 50が2つのスペース51a及び51bを持ち、下方の にインバータ53が収納されても良いし、図5(b)に 示すように、下方のモジュール54のスペース55に直 流電源56が、上方のモジュール57のスペース58に インバータ59が収納されても良い。

[0017]

[0018]

第2態様として、直流電源とインバータとを横方向に並 べても良い。この場合、図6 (a) に示すように、1つ のモジュール60が2つのスペース61a及び61bを 持ち、右方のスペース61aに直流電源62が、左方の 10 スペース61bにインバータ63が収納されても良い し、図6 (b) に示すように、右方のモジュール64の スペース65に直流電源66が、左方のモジュール67 のスペース68にインバータ69が収納されても良い。

インバーター体型電源装置は、例えばハイブリッド自動 車の座席の下方やボンネット内に搭載して電動機の駆動 のために利用することができる。尚、本発明の特徴は直 流電源とインバータとを一体化することにあり、名称が どうあれ(インバーター体化電源装置、電源一体化イン 20 バータ装置)、両者が一体化されているものは本発明に

<自動車、電動機等>

含まれる。

自動車とは電気自動車又はハイブリッド自動車であり、 電動機とはモータ又はモータジェネレータ(MG)のこ とである。MGはモータの機能とオルタネータと機能と を持ち三相交流で駆動され、エンジンの起動、車両のス ムーズな発進及び停止を補助する。また、エンジンの出 力や車軸の回転エネルギを電気エネルギに変換して直流 電源に貯える機能を持つ。電動機とインバータとは三相

[0019]

【実施例】

以下、本発明の実施例を添付図面を基にして説明する。 く実施例>

(構成)

図3にハイブリッド自動車の電気システムを示す。電気 システムはインバーター体型電源装置10、MG26、 変速機32及びガソリンエンジン31から成る。図1及 び図2に示すように、インバーター体型電源装置10 が一体化されている。一体化とは構造的に一体化の意で 40 は、直流電源12と、インバータ17とを含む。直流電 源12の直方体形状のモジュール13内には多数の単電 池(不図示)が収納されている。モュール13の上面1 4に凸状の直流出力部15が形成されている。直流出力 部15は正極端子と負極端子とを含み、各端子に単電池 の正極及び負極が接続されている。

[0020]

インバータ17の樹脂製で直方体形状のモジュール18 は、その内部にスイッチング素子及び容量の小さい平滑 用コンデンサ (何れも不図示) を含み、その下面19に スペース51aに直流電源52が上方のスペース51b 50 凹状の直流入力部 (不図示) が形成されている。モジュ

-3-

ール18をモジュール13の上に載置したとき、モジュ ール13の上面14にモジュール18の下面が密着し、 直流出力部15が直流入力部に嵌合する。また、モジュ ール18の側面21には凸状の三相交流出力部22が形 成されている。平面視において、二つのモジュール13 と18はほぼ同じ形状、大きさである。

[0021]

15.

モジュール18の三相交流出力部22から三相交流配線 26が伸び、MG26の三相交流入力部27に接続され ている。インバーター体型電源装置10はハイブリッド 10 自動車において座席の下方やボンネット内に搭載されて いる。

(作用効果)

図3において、車両の発進時及び発進後エンジン31が 始動するまでの間、MG26が車両を駆動する。通常走 行時、エンジン31が変速機32を介して車輪33を駆 動するとともにMG26を駆動する。MG26で発電さ れた電力はインバータ17を介して直流電源12に充電 される。回生制動時、MG26は車輪33により駆動さ れ、発電された回生エネルギは直流電源12に貯えられ 20

[0022]

停止時、エンジン31を自動停止(アイドルストップ) する。その後エンジン31を再始動する際、直流電源1 2の直流電力がインバータ17により交流電力に変換さ れ、MG26が回転する。

[0023]

本実施例によれば、以下の効果が得られる。

[0024]

が安定し、MG26の出力が安定する。その理由は、直 流電源12とインバータ17とが直流出力部15と直流 入力部とで直接導通されているからである。即ち、直流 電源配線71 (図7参照) が廃止されているため、配線 インダクタンス等による入力電圧の変動が殆んどなくな る。

[0025]

その結果、インバータ17の平滑用コンデンサ (不図 示) は従来の平滑用コンデンサ74 (図7参照) よりも させるために必要なコンデンサ容量を確保する目的で配 置される複数個の平滑コンデンサ74は、インバータ内 の容積の少なからぬ部分を占める。よって、平滑コンデ ンサ74が小型化できる意義は大きく、その分インバー タ17の寸法が小さくできる。

[0026]

第2に、直流出力部15と直流入力部とは直流電源12 の上にインバータ17を載置するのみで簡単かつ確実に 導通される。直流出力部15と直流入力部とが互いに対 向する位置に形成され、しかも直流出力部15は凸状で 50 直流入力部は凹状とされているからである。

[0027]

第3に、モジュール13とモジュール18とは平面視で ほぼ同じ形状を持つので、モジュール13の上にモジュ ール18を載置したとき、両者一体でコンパクトな直方 体形状を形成する。両者の電極位置のずれは凸状の直流 出力部15と凹状の直流入力部との嵌合により阻止され る。また、重量が重い直流電源12の上に重量が軽いイ ンバータ17を載置しているので、インバーター体型電 源装置10が安定している。

<変形例>

図4に示す変形例では、直流電源41のモジュール42 の直流出力部43と、インバータ45のモジュール46 の直流入力部47及び三相交流出力部49の構成が上記 実施例とは異なる。直流出力部43は矩形板形状を持 ち、モジュール42の側面の上面寄りのくぼみ44内に 固定され、上方に突出している。直流入力部47は矩形 板形状を持ち、モジュール46の側面のくぼみ48aに 固定されている。モジュール46の上面の側面寄りのく ぼみ48bには三相交流出力部49が形成されている。 [0028]

この変形例によれば、直流出力部43及び直流入力部4 7の配置に融通性が生じ、また両者が導通したかどうか を目視確認できる。

[0029]

【発明の効果】

以上述べてきたように、本発明のインバーター体型電源 装置によれば、直流電源とインバータとを直接導通さ せ、両者間の直流電源配線を廃止した。よって、インバ 第1に、直流電源12からインバータ17への入力電圧 30 一タにおける入力電圧が安定し、また平滑用コンデンサ の小型化によりインバータの寸法を小さくすることがで

[0030]

請求項2のインバーター体型電源装置によれば、全体が 構造的にコンパクトになりしかも安定する。請求項3の インバーター体型電源装置によれば、直流電源上にイン バータを載置するのみで直流出力部と直流入力部とが容 易かつ確実に導通される。請求項4のインバーター体型 電源装置によれば、直流出力部及び直流入力部の配置に 小容量で、寸法が小さいもので済む。入力電圧を安定化 40 融通性が生ずる。請求項5のインバーター体型電源装置 によれば、小容量の平滑用コンデンサの収納によりイン バータの寸法が小さくなる。請求項6のインバーター体 型電源装置によれば、平滑用コンデンサの廃止によりイ ンバータの寸法を更に小さくできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例によるインバーター体型電源装 置及び電動機を示す斜視図である。

【図2】上記インバーター体型電源装置の分解斜視図で

【図3】上記インバーター体型電源装置を含むハイブリ

10

ッド自動車の電気システムを示す平面説明図である。

【図4】上記インバーター体型電源装置の変形例を示す 分解斜視図である

【図5】 (a) 及び (b) は直流電源とインバータとが 縦方向に積載された実施の形態を示す説明図である。

【図6】 (a) 及び(b) は直流電源とインバータとが 横方向に積載された実施の形態を示す説明図である。

【図7】電気自動車の一般的な電気システムを示す説明 図である。

【符号の説明】

10:インバーター体型電源装置

12:直流

電源

13:第1モジュール

15:直流

出力部

17:インバータ

18:第2

モジュール

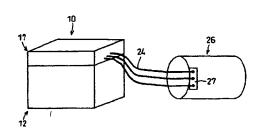
22:三相交流出力部

24:三相

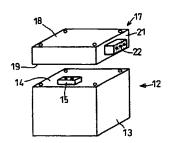
交流配線

26:電動機

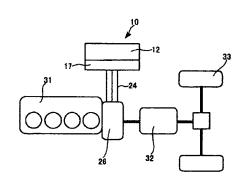
【図1】



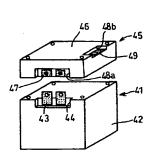
【図2】



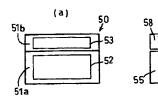
【図3】

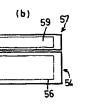


【図4】

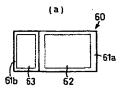


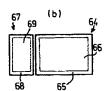
【図5】



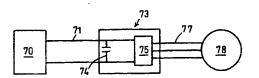


【図6】





【図7】



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.